



『若手部会』 ミニ通信

発行 仙台市老人クラブ連合会
発行責任者 齋藤 芳孝

令和 3 年度、最後の若手部会が 3/7(月)に開催されました。
会議の概要をお知らせします。

①若手部企画研修会のアンケート結果について

ア **川柳で元気になろう** →回答 64 人 (参加者 101 人)

イ **なまって笑ってコミュニケーション** →回答 79 人 (参加者 121 人)

参加者の年齢及び性別は、ア・イとも 70 代~80 代の男女で 70% 前後を占めました。60 代はア・イとも各 3 人。

老人クラブ会員以外の参加は、**アが 1 人、イが 7 人**とたいへん少ない結果でした。新規会員の確保は厳しいですね。

今後やりたいことは、「落語や漫才の鑑賞、パソコンやスマートフォンの習熟、旅行、ウォーキング、史跡巡り」等が目立ちました。

②令和 4 年度の若手部の活動について

ア **川柳の愛好者の拡大** →**川柳で元気になろう**の継続施策

川柳の参加者を多くして、優秀作品はホームページに掲載する予定です。単老・地区老・区老連の情報紙に寄せられた川柳を事務局で収集し、川柳の講師にアドバイスをもらうことも考えています。詳細は後日別途お知らせします。

イ **スマートフォン教室の開催** →①のアンケート結果も考慮

手始めに、若手部の部員がスマホでライン等ができるように習熟します。その後、区老連等でスマホ教室に参加される方を選考していただきます。会員以外の方でも参加できるようにします。具体的なことは、今後、計画の上 お知らせします。

コロナウイルス感染には、くれぐれもご注意の上、新年度はさらに飛躍できるクラブ活動にして参りましょう。